

市長の意見交換会〈両津地区（鷺崎会場）〉質疑要旨

日時：令和8年2月14日（土）14:00～15:20 会場：鷺崎ふれあいセンター

参加人数：34名（下記市職員は含まない）

佐渡市：渡辺市長、岩崎総務部長、平山財務部長、金子総合政策課長、両津支所 桑崎支所長 ほか4名

1. 市政について

市長より説明	<p>（説明内容）</p> <p>○佐渡市の現状と課題・対策について</p> <p>持続可能な島づくりのイメージ図について、令和2年からの基本的な5つの柱に人口減少社会に向けた対策を新たに作っていきこうと「教育」と「行財政改革」を加えた。</p> <p>教育は「地域教育」で、佐渡の子どもたちや佐渡に関連する人たちに佐渡を好きになってもらう、そういう地域教育をやっていききたい。地域を知って地域のために残りたい、1回出てもいいから帰りたい、外にいても佐渡はいいと言ってもらえるようにしていきたい。</p> <p>佐渡のUターン、Iターンの状況、東京の生活と佐渡での生活、佐渡の魅力、日本の人口減少と社会構造の問題、佐渡の人口減少の現状、元気な高齢者を増やす、5年、10年先を見た医療・福祉の取り組み、ライフライン（水道、医療、ごみ焼却、船舶など）をどう守っていくか国のリードによる社会システムの変革</p> <p>「行財政改革」この10年を見据えていかに効率的にやっていけるか、維持できるか。自分たちが真摯にしっかりと取り組まなければ国の応援はない。徹底的に効率化を図り、徹底的に進めていきたい。</p> <p>マイナンバーによる自宅での住民票、戸籍の交付申請、デジタル窓口など</p>
--------	---

2. 質疑

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(黒姫地区)	<p>①集落内でドコモの電波が通じない、家にいて携帯が使えない状況がある。一昨年の能登半島地震の際、避難所に移動した時にそこで連絡が取れなくて、津波警報が出ている中、海の近くまで行って電話をした経緯がある。ドコモの携帯が繋がるようにしていただきたい。</p> <p>②能登半島地震と豪雨災害のあと輪島市へ視察に行ったが、地元の人が過疎化が被害を大きくしたと言っていた。人口減少、高齢化で今までやっていた集落内の道普請や江の掃除が出来なくなったことが大きな問題だった。市でも高齢化集落支援事業でご支援いただいているが、広い用途で活用できるようなメニューにしていきたい。</p>	<p>①ドコモには何とかして欲しいとずっと言っているが改善されない。それでは災害時は困るので、電波の不感地帯にはスターリンクといったものを使いながら、いざという時には通じるようなものをやりたいと思っている。</p> <p>②どこまで支援できるかという部分は考えていく。地域コミュニティ交付金については、議会からも小さな集落は2分の1を負担出来ないという指摘を受けたので制度改定も考えている。</p>	総務課 防災課 建設課 地域産業振興課
(鷺崎地区)	<p>①4月から新たに離島留学で来られる予定の学区外の中学生について、スクールバスを出してもらえないか。路線バスで鷺崎発の18時半（18:21）が減便されるとの話も聞いた。</p> <p>②離島留学を増やすため色々計画をしているが、旧教員住宅の改修について今後も継続して相談させていただきたい。</p> <p>③移住促進事業について、空き家の改修を始めているが、今後も継続しての事業の支援と拡大をお願いしたい。</p>	<p>①スクールバスについてはすぐに答えられない。スクールバスは運行基準があり難しいと思われるが、教育委員会に話はしてみる。</p> <p>②旧教員住宅の改修については、以前から傷みも激しくなかなか難しいと聞いている。もし払下げが可能であれば所有する気持ちはあるか。補助金を出す場合、財産の権利をどうするかというところが一番難しい。その辺りも踏まえて全部整理して考えていきたい。</p> <p>③今後施設整備をするのであれば、島留学に限定せず、移住者向け、二地域居住の住宅を整備するといった仕組みを考えてみてはどうか。それには管理体制を作っていくことが大事だと思う。何が1番有利で出来るか調べさせてみる。補助事業の拡大については、令和8年度の予算編成が終わっているので、令和9年度に向けてもう少し検討したいと思っている。</p>	教育委員会 交通政策課 移住交流促進課 総合政策課
(見立地区)	<p>集落が袋小路になっている。一周線の工事は完成したが、災害時のための道路の工事がまだ始まっていないので、早期の着工と完成をお願いしたい。</p>	<p>確認して回答させる。 (建設課から区長にスケジュール等の説明を行った。)</p>	建設課 両津支所

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
(鷺崎地区)	①離島留学をしてきてこの地域がすごく好きになった。この地域にもっと人が来て欲しいし、離島留学も留学以外でもこの地域が好きで住みたいという人が増えてくれたらいいと思っているが、住める家がないという現状がある。先ほど空き家のこととかを聞かせていただいたので、ぜひそれをお願いしたい。 ②フードバンクを利用させていただいているが、金井地区にしかない。佐渡市は広いのでもう何箇所かあると有難い。	①空き家は個人情報もあり市では集められない。地域の中で色々な情報を集めて市の方に伝えていただければ市としての出来る限りのことはしていきたいと思っている。 ②フードバンクはあまり行政が関わっていない。行政が関わると利用するルールが必要で制限がでてくる。ただ、1箇所だとかと思うので、福祉部とどんな形があるのか考えてみたい。税を使ってもいいのか悩んでいるが、使ってもいいのであれば一定程度子どもの居場所と合わせて行うのも一つの方法かと思うので、もう少し考えさせて欲しい。	移住交流推進課 社会福祉部
(上新穂地区)	①佐渡についてこんな素晴らしいところはないと思って移住してきたが、他の地区のことはあまり知らないという方が多いように感じた。島全体の皆さんの意識を盛り上げるような市民の意識レベルで改革ができないかと思っている。過去に意識調査などを行っていないようなので、市民の離島に対してとか佐渡に対しての意識調査をやっていただき、その上で盛り上げる施策をしていただけたらどうか。 ②定年してから来られる方を集める施策がないので、若い方だけでなく年齢が上の方でも移住がしやすいような施策をやっていただきたい。	①先ほど地域教育で子どもに帰ってきてもらおうと話したが、実はこの地域教育は我々世代も含めた親の考えも変えなければいけない。佐渡の子どもたちに帰ってきてもらえるようみんなで変えていかなければならない。中を変えるには外から褒められることが大事だと職員にも言っている。二地域居住や脱炭素先行地域のモデル地区になったのは外からこういう評価を受けているところを市民の皆さんに誇りに思ってもらうためでもある。世界遺産も同じ。特に中を変えるには外から来た方の力が大きいので、どんどん声を出していただきたい。移住者の皆さまに期待している。 ②高齢者の移住については、元気な高齢者の方に来ていただいて別荘化するのも面白いと思っている。若い人を重点にしているが、その辺は色々と考えてみる。	総合政策課 移住交流推進課
(真更川地区)	両津支所に依頼したことにに対して①作業が遅い、②内部の連携が悪く意思疎通がされていない。情報のスムーズな流れ、作業の速さを考えていただきたい。 ①集落内の防犯灯について②選挙の投票箱の送致について、返事をしているのに確認の連絡が何回も来た。	全部両津支所の話なのでしっかりと対応させる。 職員には、出来る出来ないを、いつ頃出来るのか、出来ない場合はなぜ出来ないのか本当に出来ないのかをしっかりと説明するように言っている。スケジュールも少しやもうちょっとではなく何日とか1ヵ月とかの時間軸で、必ず早めに返事をするよう言っているが出来ていないので徹底させたい。 (防犯灯の対応について、両津支所から具体的な見込みを伝えた。)	両津支所
(鷺崎地区)	鷺崎の基幹道路である海府幹線3号線が狭くて交差できる場所がないため、毎年集落要望として道路改良をお願いしている。昨年、ここにあった危険家屋が撤去され空き地が出来た。所有者の好意で待避所として利用が出来ているが、ちょうど真ん中に電柱があり障害になっている。電柱の移動と市道の改良をお願いしたい。避難道路にもなっている。	市道の改良は簡単ではない。電柱についてはN T T の電柱であれば話をしてみる。 (電柱は民地に立っているため、集落とN T T で現地確認を行い、移設する方向となった。)	両津支所 建設課 防災課
(鷺崎地区)	鷺崎地区に移住して離島留学をしているが、来年度内海府小学校は離島留学生だけになる。この地域は魅力的なので、願いとして地元の方のお子さんやお孫さんに内海府地区に戻ってきて欲しいと思っている。この辺は学校が終わって外で遊べるところがない。小学校にも遊具が少しあるだけなので、家にこもらず外で遊べるような公園や真野公園などのように遊具があるといい。	公園は作るのが難しい。遊具の問題は撤去の方針できているが、毎日というよりも土日に遊びに行くような場所を魅力的にしたいと考えている。今のところ、2、3年で計画的に真野公園などの遊具を増やして、土日に遊べるようなものは強化したいと建設部に考えて話をしている。学校の遊具もエリアごとに考えていく。例えば公園から遠いところは少し強化するとかは考えられるかもしれないが、今のところ学校の遊具は予算的に考えていない。	教育委員会 建築住宅課
(鷺崎地区)	移住に関して、私自身も移住してきたが仕事・労働環境が移住のポイントになると思う。私は2月に起業し事業内容は海洋の体験事業(海の教室)をやりたい。佐渡の海はポテンシャルが高いと思うので、海洋教室だったら佐渡というくらいにしたいと思っているので、そのモデルケースをこの内海府地区で作っていただきたい。	今、有人国境離島の中で雇用を支援する事業がある。創業と事業規模拡大のパターンがあるので、今年はもう採択が終わっているので来年になるが、人を雇用したり規模拡大する場合など、必要があれば本庁の担当課にご相談いただければと思う。	総合政策課 移住交流推進課 地域産業振興課